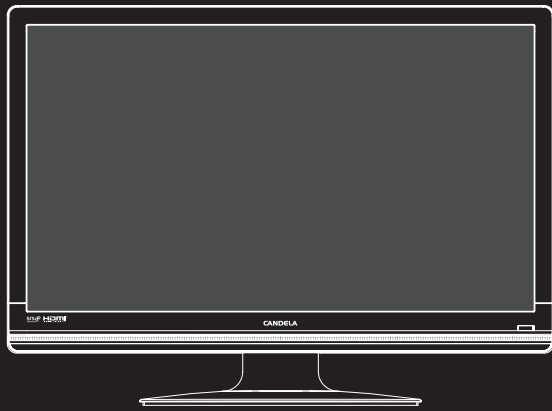
Liquid Crystal Display

CANDELA®

地上デジタルフルハイビジョン液晶テレビ

CPEV24WDE4
CPEV22WDE4
CPEV19WDE4

取扱説明書

イラストはCPEV24WDE4です。

はじめに

この度はCANDELA製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

●本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明な点などがある場合に再度お読みください。

●保証書に、お買い求めいただいた販売店の名称とお買い上げ日が記入されていることをお確かめください。

株式会社 ディーオン

Index

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈図記号の例〉

△記号は警告（注意）を示します。

⃠記号は行為の禁止を示します。（この例は「分解禁止」）

●記号は行為の強制を示します。（この例は「電源プラグを抜く」）

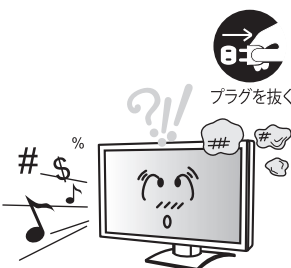
強制の記号です。必ず実行していただきたいことを示します。

警告

異常や故障のとき

■異音や異臭がしたら

プラグを抜く

製品が正常に機能しないとき、異常音や煙、異臭などが発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、テクニカルセンターにご連絡ください。

■内部に水や異物が入ったら

プラグを抜く

製品を、雨のあたる場所や水気の多い場所（台所やプールの近くなど）に置かないようにしてください。内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグを抜き、テクニカルセンターにご連絡ください。

■電源コードを大切に

禁止

破損した電源コードは、絶対に使わないでください。また、電源コードの上や周囲にはものを置かないでください。電源コードが破損しやすくなります。

■改造しない、カバーを開けない

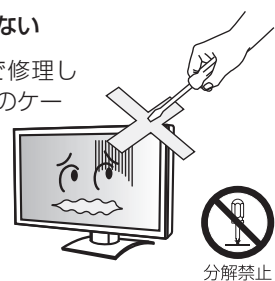
感電を避けるため、ご自分で修理しないでください。液晶テレビのケースを開ける、または取り外すと高電圧やその他の危険要因と接触する可能性があり大変危険です。専門のサービス員にお任せください。

分解禁止

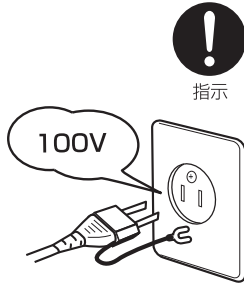
⚠警告

設置するとき

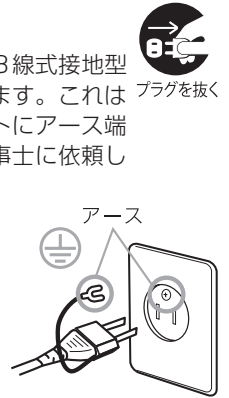
■電圧の確認

指示

この製品に使う電源仕様はAC100Vです。AC100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

■アースの利用

プラグを抜く

電源プラグにアース端子を備えた３線式接地型プラグを使用している機種があります。これは安全上の機能ですので、コンセントにアース端子を接続できない場合は、電気工事士に依頼してコンセントを交換してください。
また、アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。アース接続をはずす場合も、必ず電源プラグを、コンセントからはずして行ってください。

■屋外や浴室に置かない

水ぬれ禁止

雨のあたる屋外や水気の多い台所や浴室に置かないようにしてください。

■上にものを置かない

上載せ禁止

金属類や花びん、コップなどをテレビの上に置かないでください。

使用するとき・お手入れについて

■雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線に触れない

禁止

感電の原因となります。

■異物を入れない

異物挿入禁止

感電や火災を避けるため、液晶テレビのケースのいかなる開口部・孔・透き間から金属類や紙などの燃えやすいものを挿入しないでください。

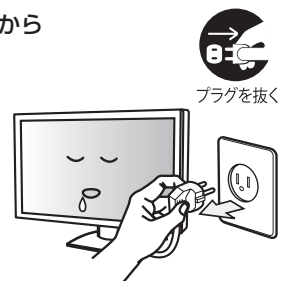
■電源コードを引っ張らない

禁止

電源コンセントから、電源コードを抜くときは、コードではなく、プラグ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

■清掃は電源プラグを抜いてから

プラグを抜く

清掃をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

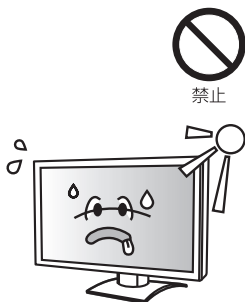
設置するとき

■温度の高い場所に置かない

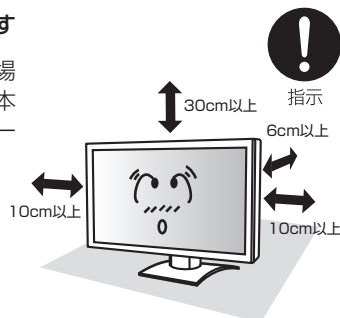
禁止

直射日光のあたる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。キャビネットの変形や破損によって感電の原因となることがあります。

■設置の際は壁から離す

指示

本棚などの通気の悪い場所に設置する場合は、本体と周囲との間にスペースを空けてください。

■通風孔を塞がない

禁止

本体にある開口部は換気用です。過熱を防ぐため、通風孔を塞がないでください。テーブルクロス・カーテンなどを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

■お子様にご注意

指示

小さなお子様の手が届かない場所でお使いください。倒れたりしてけがの原因となることがあります。

使用するとき・お手入れについて

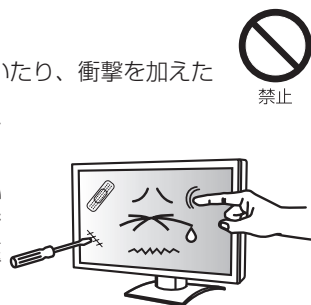
■日本国内専用

指示

本製品は、日本国内の一般家庭用として設計・製造されています。国外で使用された場合や一般家庭用以外の用途で使用された場合は、サポート・保証の対象外となります。

■やさしく扱って…

禁止

液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
もしも、ガラスが割れて内部の液晶（液体）が目に入ったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

■長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く

長期の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

■清掃はやさしく

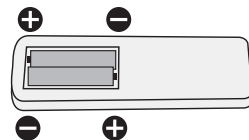
指示

清掃時は、本体と付属品が破損していないかチェックします。画面またはキャビネットに直接スプレーをかけたり、液体をこぼしたりしないでください。
水または非アンモニア系、非アルコール系のガラスクリーナを使用して、湿った柔らかいきれいな布でやさしく拭いてください。

⚠注意

使用するとき　つづき

■リモコンに使用している乾電池は、

●指定以外の乾電池 (マンガン電池など) は使用しない
●極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れたりしない
●表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目や口に入ったり、皮膚に付いたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具に付いたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- ご使用中に製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 液晶テレビではテレビゲームをお楽しみいただけますが、光線銃などを使って画面を標的にしたゲームでは、原理上使用できません。
- 外部入力の映像や音声には若干の遅れが生じます。
- テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。
  映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感がありますが、故障ではありません。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは、構造上、表示画面に黒い点（点灯しない点）、または輝点（光点）が見えることがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶パネルは、長時間映し出しておくと、残像が出たり、液晶パネルの寿命を短縮させる場合があります。画面を見ないときは、節電機能やスクリーンセーバーをご利用ください。

廃棄、または譲渡するとき

- 家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの液晶テレビを 2009 年 4 月 1 日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。（カードが貼ってある説明書の表と裏をよくお読みください。）
- 梱包箱 (外箱と梱包材) を廃棄しないでください。
  修理などで本製品を輸送する必要があるときに、ご利用いただくためです。
  また、長期間ご使用にならないときにも、梱包箱に入れて保管してください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた損害、および、逸失利益などに関しまして、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

必ずお読みください

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル（テレビジョン）放送とは？

地上波のUHF帯を使用した地上デジタル放送のことです。取扱説明書では、「地上デジタル放送」と記載しています。

受信地点が、すでに放送地域になっていること

地上デジタル放送の受信エリアの目安については、下記にお問い合わせください。
総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター
0570-07-0101　03-4334-1111
受付時間　9：00～21：00（平日）
　　　　　9：00～18：00（土、日、祝祭日）
http://www.dpa.or.jp/
（2011年7月現在）

地上デジタル放送には、UHFアンテナが必要です

UHFアンテナには全帯域型と帯域専用型があります。地上デジタル放送を受信するには全帯域型または地上デジタル放送対応型のUHFアンテナをご使用ください。

UHFアンテナが、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていること

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が違う方向の場合は、UHFアンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔に変更してください。

地上デジタル入力信号に、必要な強度があること

地上デジタル放送は、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

お知らせ

- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設で地上デジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

留意点

- 付属のB-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちに（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のファームウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
- この取扱説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書と製品保証書は、大切に保管してください。製品保証書は、本製品を修理する場合など、当社のサポートをお受けいただく際に、ご提示いただく必要があります。
- 本製品に関するお問い合わせ、および修理に関しましては、お買い上げになった販売店、または、当社テクニカルセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。最新の情報についてはテクニカルセンターまでお問い合わせください。
- この取扱説明書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万が一、誤りや記載もれなどがございましたらテクニカルセンターまでご連絡ください。

ご注意

ファームウェアの更新について

- ファームウェアデータは、地上デジタル放送波にファームウェア信号を載せて送信され、本機へデータをダウンロードします。
  ファームウェアの更新は、本機の電源が切られているとき（電源インジケータが橙色点灯時）に自動的に実行します。また、ファームウェアの更新処理には約10分かかります。長期間ご使用にならないとき以外は電源コードを抜かないようにしてください。

当社は、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）の会員です。ファームウェア更新は、Dpaのエンジニアリングサービスで行います。

地上デジタル放送について

放送フォーマットの種類

デジタルハイビジョン放送を中心に、4 種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送
放送フォーマット	1125i(1080i) 放送	750p(720p) 放送	525p(480p) 放送	525i(480i) 放送
走査線の数	1125 本 (有効 1080 本)	750 本 (有効 720 本)	525 本 (有効 480 本)	525 本 (有効 480 本)
走査方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16:9	16:9	16:9、4:3	16:9、4:3

デジタルハイビジョン放送 1 番組と通常放送 3 番組程度を、時間帯によって切り換えて放送するマルチチャンネル放送もあります。

地上デジタル放送の特長

1. デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
2. 高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）
3. ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明
4. 移動体受信・部分受信サービスに対応
   車や電車などでの移動体受信サービスや携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予約されています。
   ※本機では、部分受信サービスは受信できません。

B-CAS（ビーキャス）カードをセットしましょう

必ず付属の mini B-CAS カードをセットしてください。mini B-CAS カードをセットしないと、地上デジタル放送をご覧になれません。mini B-CAS カードは、デジタル放送に必要な情報を書き込むためのカードです。お客さまの個人情報は書き込まれません。

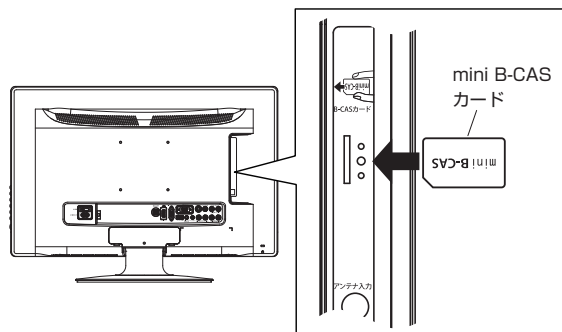
1 台紙から mini B-CAS カードをはがす

同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をよくお読みください。

2 mini B-CAS カードを挿入する

mini B-CAS カード挿入口は、左側面部にあります。mini B-CAS カードを下図の向きにして、カチッと音がするまで差し込んでください。（プッシュロック機構付き）
mini B-CAS カードをはずす際は、mini B-CAS カードを一度奥に押すとカチッと音がして、ロックが解除されます。

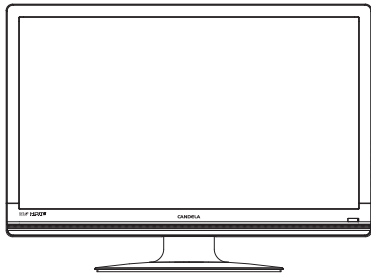
3 mini B-CAS カバーを付ける

付属の mini B-CAS カバーを取り付け、mini B-CAS カバー用ネジで固定します。

ご注意

- セットした mini B-CAS カードは、抜かずにご使用ください。
- mini B-CAS カードを傷つけたり濡らしたりしないでください。IC 回路が損傷すると、地上デジタル放送を受信できません。
- mini B-CAS カードの金属部（集積回路）には触れないでください。

準備をしましょう

取扱説明書中のイラストは、CPEV24WDE4 のものです。
ご購入の製品や付属品と、本取扱説明書に掲載されているイラストは異なることがあります。

製品と付属品を確認しましょう

本体……1 台

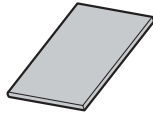
※ リモコンは、本体受光部から 5m 以内、左右 30° 以内でご使用ください。

リモコン……1 台

単 4 形乾電池……2 個

取扱説明書（本書）……1 冊

保証書……1 枚

※ 台紙からはずしてご使用ください。
※ カードの ID 番号は大切に保管してください。

mini B-CAS カード……1 枚

mini B-CAS カバー……1 個

mini B-CAS カバー用ネジ……1 個

ケーブルホルダー……1 個

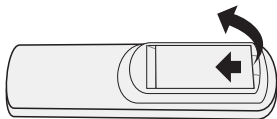
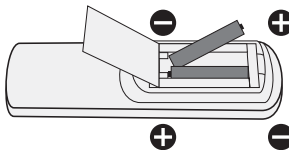
アンテナケーブル……1 本

アンテナアダプター……1 個

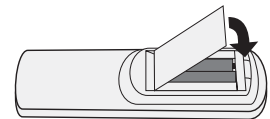
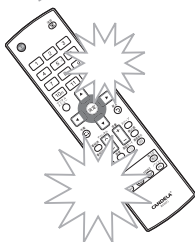
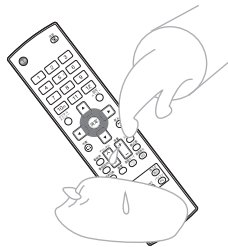
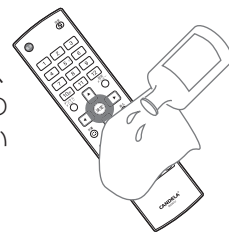
電源コード……1 本

リモコンを確認しましょう

単 4 乾電池を 2 個使用します。

1 裏ぶたをはずします

2 ⊕ ⊖をよく確かめて、⊖側から入れます

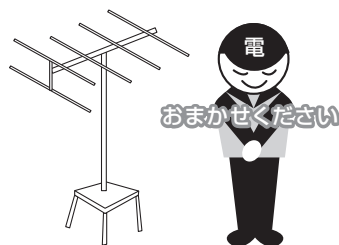
⚠ 乾電池は⊖側から入れてください。

2 裏ぶたを閉じます

ご注意

落としたり衝撃を与えないでください。

水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体で拭かないでください。

接続の準備

1 本体を設置する（☞ 13 ページ）

2 アンテナ線を接続する（☞ 14 ページ）

アンテナ工事はプロにお任せください。工事の際は販売店にご相談ください。
アンテナの定期的な点検、交換により美しい映像を見ることができます。

3 ビデオやオーディオ機器をつなぐ（☞ 15 ページ）

パソコンをつなぐ（☞ 18 ページ）

お使いの AV 機器（ビデオ機器やオーディオ機器）やパソコンを接続します。

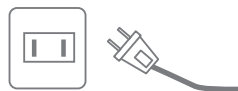
- AV 機器／パソコンの取扱説明書も併せてご覧ください

4 付属の mini B-CAS カードを挿入する（☞ 7 ページ）

mini B-CAS

- mini B-CAS カードを装着する際は、カードを水平にして斜めにならないように挿入してください。
- セットした mini B-CAS カードは抜かずにご使用ください。

5 電源コードを差し込む（☞ 19 ページ）

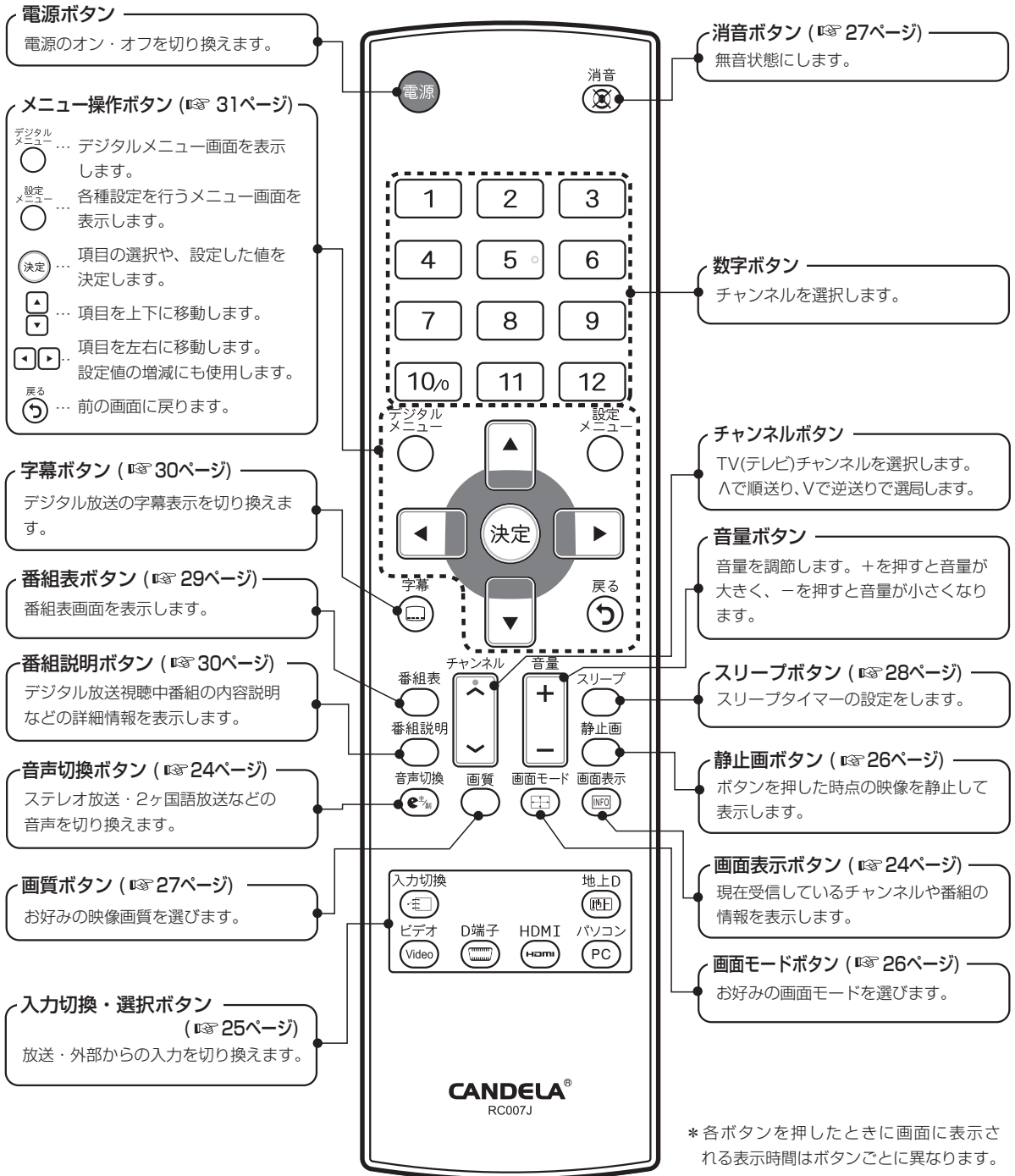
本体背面にある主電源をオンにする

- AC100V コンセントをご使用ください。

6 受信チャンネルを設定する（☞ 20 ページ）

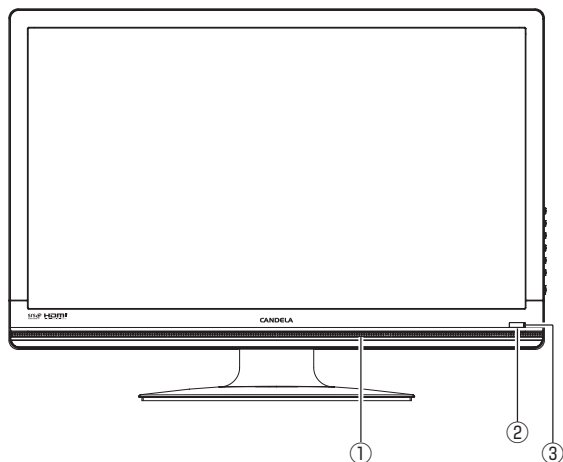
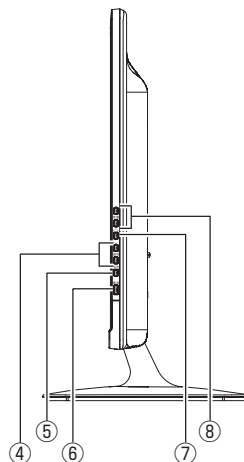
アンテナなど、すべての接続が完了したら、まずは、「チャンネル設定」を実行してください。

各部の名称と機能

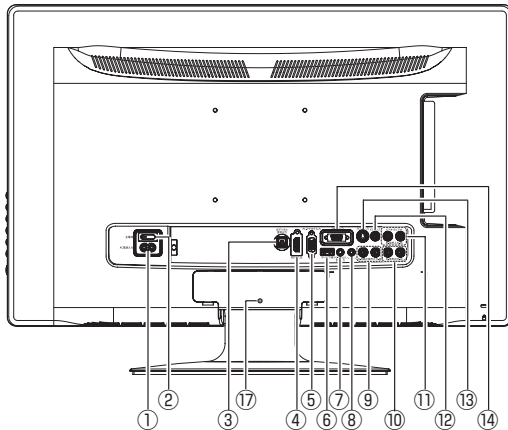
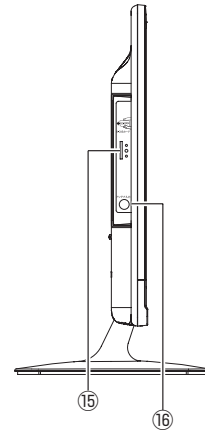
本製品を快適にお使いいただくために、リモコンとテレビ本体にある各部の役割りを覚えてください。
本体側面の操作ボタンでできる操作は、リモコンでもすべてできます。

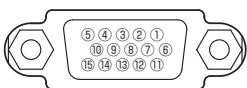
リモコン

＊各ボタンを押したときに画面に表示される表示時間はボタンごとに異なります。

本体

■ 正 面

■ 側 面

① スピーカー........................音声が出ます。（ステレオ放送対応）
② リモコン受光部................リモコンの赤外線を受光します。
③ 電源インジケータ............色によって状態を示します。
　消灯：主電源オフ
　橙色点灯：電源オフ（ファームウェアダウンロード待機モード）
　青色点灯：電源オン
④ 選局▲▼...........................チャンネルを順送りまたは逆送りに切り換えます。
　設定メニューの項目選択や入力切換メニューの選択にも使用します。
⑤ 決定 ....入力切換メニューを表示します。
　設定メニュー表示時の [決定] ボタンの役割りもします。
⑥ 電源 ....電源のオン・オフを切り換えます。
⑦ メニュー...........................設定メニューを表示します。
⑧ 音量▲▼...........................スピーカーからの音量を調節します。設定メニューからの調整にも使います。

接続端子

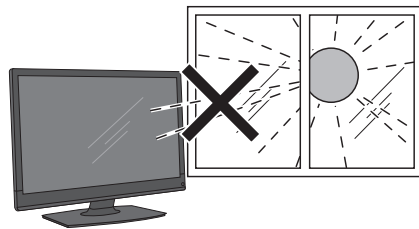
■ 背 面

■ 側 面

① AC 電源入力端子................................ 付属の電源コードを接続します。(☞ 19 ページ)
② 主電源スイッチ.................................. AC 電源を切り換えます。
③ 光デジタル音声出力端子.................... サラウンド対応 AV アンプなど、デジタル音声（5.1 チャンネルなど）を再生できる機器と接続します。(☞ 17 ページ)
④ HDMI 入力端子.................................. HDMI 端子を持つ機器（DVD プレーヤーなど）を接続して映像・音声をデジタルで伝送します。(☞ 16 ページ)
⑤ PC- アナログ入力端子....................... PC(パソコン) を接続します。(☞ 18 ページ)
⑥ サービス端子...................................... サービス保守用の端子です。何も接続しないでください。
⑦ PC- アナログ音声入力端子 .... パソコンの音声出力端子と接続します。(☞ 18 ページ)
⑧ ヘッドホン端子.................................. ヘッドホンを接続します。接続時はスピーカーの音声はオフになります。
⑨ D 端子音声入力端子........................... D 端子を持つ AV 機器を音声ケーブルで接続します。(☞ 16 ページ)
⑩ 音声出力端子...................................... 外部ステレオ機器と接続します。(☞ 17 ページ)
⑪ ビデオ /S ビデオ音声入力端子.......... ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機などと接続します。(☞ 15 ページ)
⑫ ビデオ入力端子.................................. 映像出力を持つ機器（ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機など）と接続します。(☞ 15 ページ)
⑬ S ビデオ入力端子............................... S 映像端子出力を持つ機器（ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機など）と接続します。(☞ 15 ページ)
⑭ D 端子入力端子.................................. D 端子を持つ AV 機器を D 端子ケーブルで接続します。(☞ 16 ページ)
⑮ B-CAS カード挿入口......................... 付属の B-CAS をカード挿入します。(☞ 7 ページ)
⑯ アンテナ入力端子............................... 地上デジタルアンテナを接続します。(☞ 14 ページ)
⑰ ケーブルホルダー固定穴..................... 付属のケーブルホルダーを取り付け、アンテナ接続ケーブルや外部機器との接続コードを整理します。

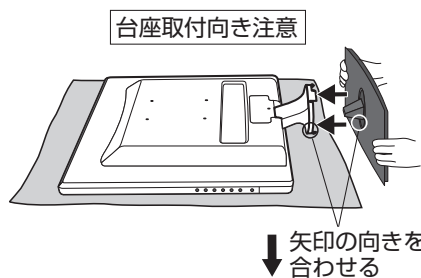
■ PC- アナログ入力端子

端子番号	機 能	端子番号	機 能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDC データ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号入力用 GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号入力用 GND	15	DDC クロック
8	青映像信号入力用 GND		

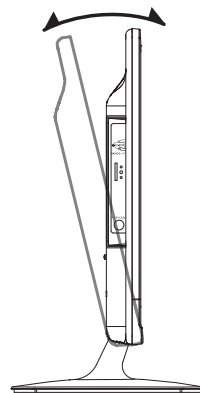
設置のしかた

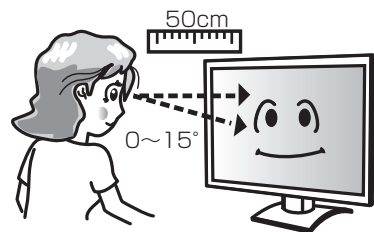
本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、動作が安定する場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置場所について

● 直射日光があたらず、気温が安定している場所を選んでください。
● グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。

台座を付ける

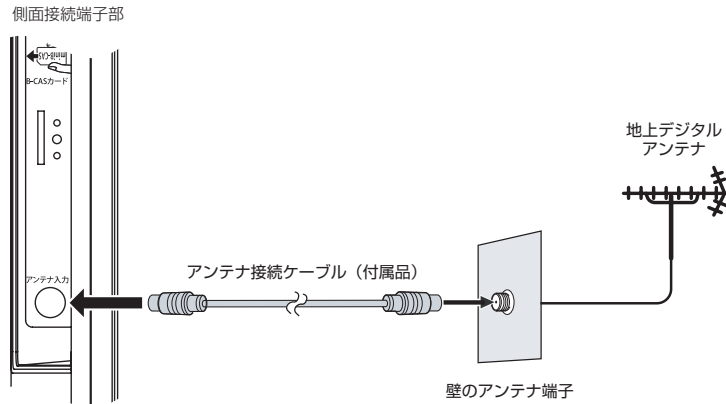
● 画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本体を置きます。
● 台座の向きを確認します。台座と台座軸の矢印マークの向きを合わせます。
● 本体のツメと台座の穴を合わせて差し込み、カチッと音がするまで押し付けます。
液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

■前後方向の角度調整するには…

テレビの角度を見やすい位置に調整することができます。倒れたりしないよう、スタンド部分をしっかりと押さえて調整してください。

■本機をパソコン用ディスプレイとして使用する際は…

● ディスプレイの角度はやや見下ろすように設定して、目の疲れを最小限に抑えるため画面から 50cm 以上離すように設置してください。
● ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明の明るさを適度に調整し、ディスプレイの反射を抑えてください。
● パソコンの作業時間は 1 日最大 6 時間を目安として 1 時間ごとに 10 ～ 15 分の休憩を取るようにしてください。

アンテナの接続

アンテナ工事には専門の技術が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

アンテナ線のつなぎかた

付属のアンテナアダプターは必要に応じてご使用ください。

ご注意

- アンテナ線の接続には、付属のアンテナケーブルをご利用ください。
- 上記の接続図は一般的な例であり、お客さまの設置状況によっては新たにご準備いただくケーブル、分配器、分波器、アンテナプラグなどが必要になる場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。
- ケーブルを接続するときは本製品の電源をオフにしてください。
- 電波が弱い地域で市販のブースターをご使用の場合、電波と同時にノイズも増幅されるため、テレビ画面にブロックノイズが残る場合があります。これは、製品の故障ではありません。

お知らせ

地上デジタル放送を受信する場合

- 地上デジタル放送を受信する場合は、アンテナ、混合器、分配器、ブースター、ケーブル類はデジタル放送対応のものをお使いください。デジタル放送に対応していないものを使用すると、映像にブロックノイズが入ったり、チャンネルによって受信できないなどの現象が発生することがあります。
- 接続に使用する市販の同軸ケーブルには、減衰量が少なく経年変化の少ない S-4C-FB 以上の特性のものを、F 型コネクターには、C15 型をおすすめします。F 型コネクターの加工方法については、F 型コネクターに付属の説明書をご覧ください。
- 地上デジタル放送は UHF アンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

映像にしまが出たり、線上のノイズが出るとき

- アンテナ線へのノイズの影響が原因です。アンテナ接続部のシールドを強化することで、ノイズの影響を抑えられ、よりきれいな映像でご覧いただくことができます。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

- アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪いときは販売店にご相談ください。

アンテナの設置場所

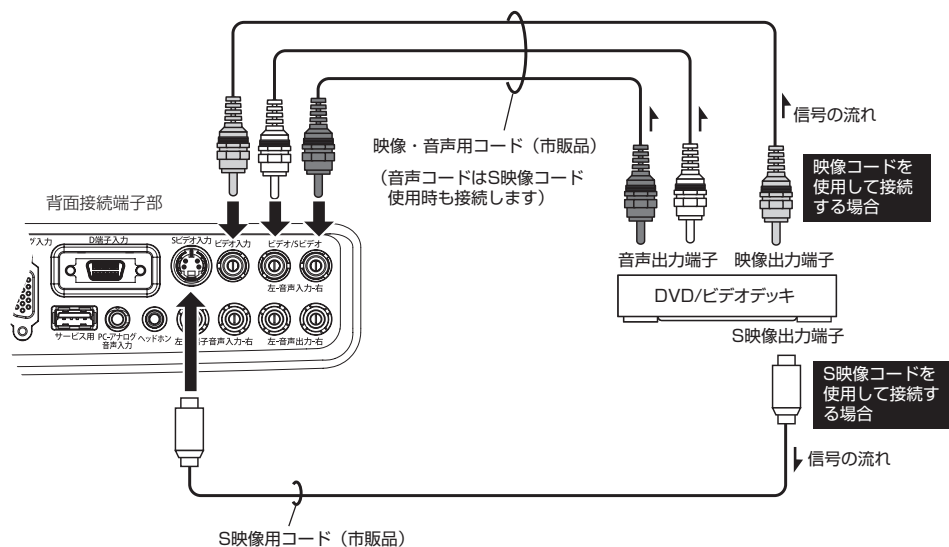
- きれいな映像でご覧いただくために、道路や線路、送電線から離れた場所にアンテナを設置してください。また、ネオンサインも大きなノイズを発生しますので注意が必要です。

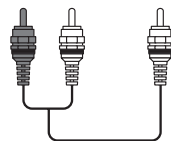
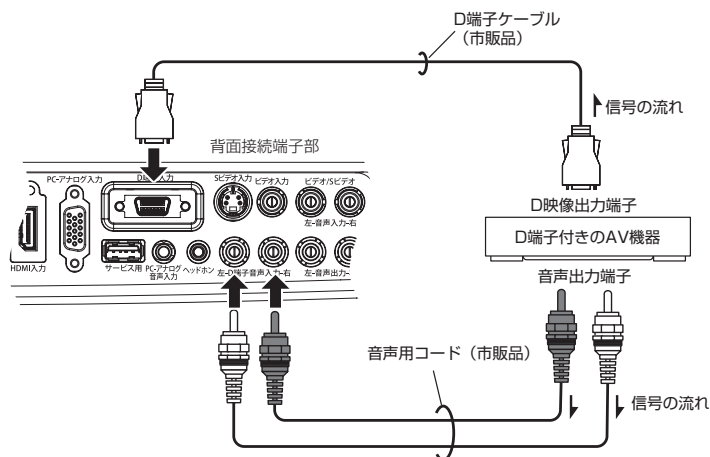
外部機器の接続

本機に、DVD プレーヤー、HDD レコーダー、ビデオカメラなどの AV 機器やゲーム機、パソコンなどを接続してお使いになれます。

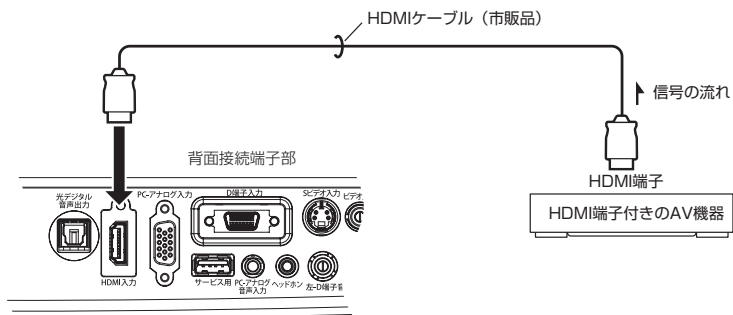
ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 雑音や映像ノイズなどの原因となりますので、プラグは端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- AV 機器をつないだ際に映像の乱れや雑音が発生するときは、各機器を十分に離してみてください。
- AV 機器によっては接続方法が本取扱説明書に記載されている方法と異なる場合があります。実際の接続では、接続する AV 機器の説明書も併せてお読みください。

DVD、ビデオデッキなどの接続

お知らせ

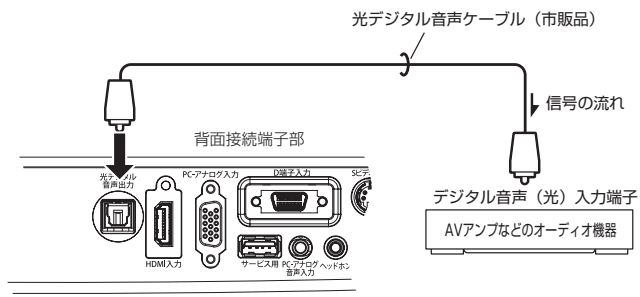
- 出力側の機器に S 映像端子がある場合は、S 映像用コード（市販品）で本機の S- ビデオ入力端子に接続することをおすすめします。
- AV 機器の音声端子がモノラルの場合、図のような片側 1 ⇔片側 2 ピンプラグケーブルで接続してください。

D 端子付き AV 機器（BS/CS デジタルハイビジョンチューナーなど）の接続

お知らせ

- 本機の D 端子の規格は「D4」です。出力側の機器に D 映像端子と HDMI 端子があるときは、HDMI 端子で接続してください。接続が簡単で、より高精細な映像をお楽しみいただけます。
- 接続機器によっては、出力を D 端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧いただき、設定してください。

HDMI 端子付き AV 機器の接続

お知らせ

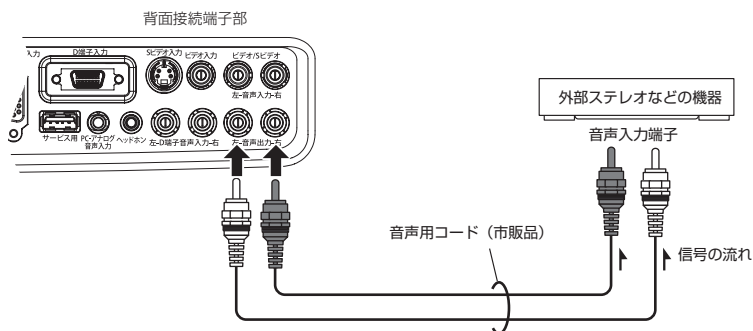
- HDMI 端子は、ハイビジョンの高画質映像と音声を、1 本のケーブルでデジタルのまま伝送します。出力側の機器に HDMI 端子と D 端子があるときは、HDMI 端子で接続してください。
- 暗号化処理された映像は、著作権保護のため D 端子などの接続では見ることができない場合があります。
- HDMI 入力へ切り換える際は、本機内部のチップ処理の関係で数秒時間がかかります。
- パソコンなどの DVI 出力のある機器とも、DVI-HDMI 変換ケーブルを使うことで接続することができます。この場合は接続する機器の音声出力を、パソコンとの接続と同様にオーディオケーブルを使用して接続してください。
- 映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

オーディオアンプなどとの接続

地上デジタル放送のデジタル音声（5.1 チャンネルサラウンドなど）をダイレクトにデジタル音声のまま出力することができます。AV アンプなどのデジタル音声（光）入力端子に接続すると、サラウンド音声を迫力のある音で楽しめます。

お知らせ

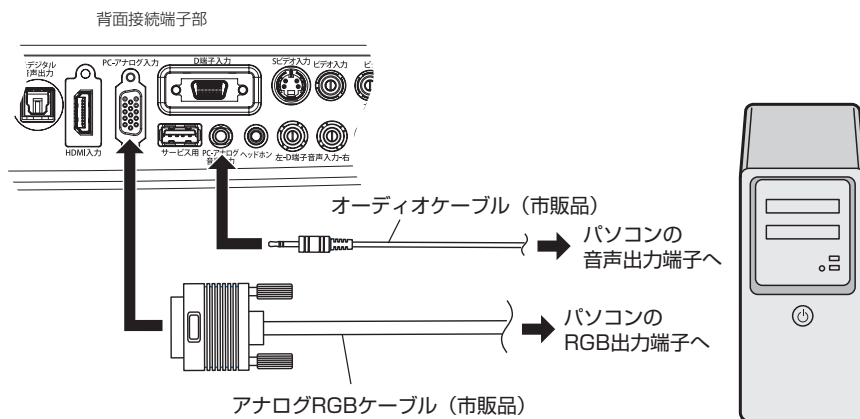
- 光デジタル音声出力は AAC 形式のみに対応しております。(PCM 非対応)
  接続される AV アンプは AAC 対応の製品と接続してください。

外部ステレオ機器との接続

テレビの音声を外部のステレオから出力することができます。

お知らせ

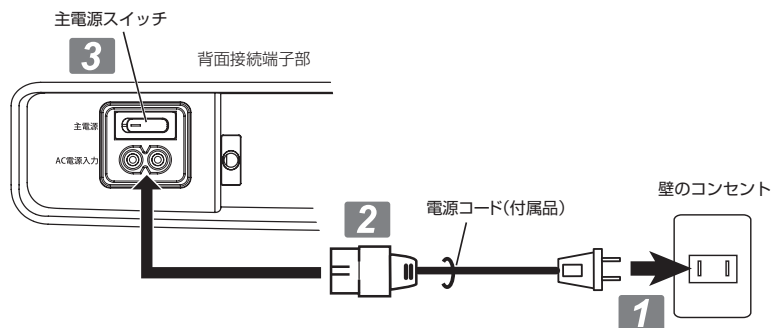
- 地上デジタル放送の音声は、アナログ音声として出力されます。

パソコンとの接続

本機は､アナログ RGB(ミニ D-Sub15 ピン) 端子を搭載しています。パソコン側の RGB 端子とアナログ RGB ケーブルを使って接続します。
パソコンの音声は､オーディオケーブル（ステレオミニジャック）で本機の PC- アナログ音声入力端子に接続します。

お知らせ

- すべてのパソコンでの動作検証は行っておりません。（Macintosh など、Windows 2000/XP/Vista/7 以外の動作は検証しておりません。）また、パソコンのビデオカードなどによっては、表示できない場合があります。

電源コードの接続

●電源プラグは、後で抜き差しがしやすい場所にあるコンセントをご使用ください。

1 コンセントへ電源コードを差し込む

2 電源コードを本機の電源入力端子へ接続する

3 主電源スイッチをオンにする

電源インジケータが橙色点灯になります。

付属の電源コード以外は使用できません。火災・感電・電波妨害の原因になります。また付属の電源コードは本機専用のため、他の機器には使用できません。

お知らせ

- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のファームウェア（制御プログラム）を自動的に更新する場合があります。ファームウェアの更新は、地上デジタル放送波にファームウェア信号を載せて送信しますので、電源コードがコンセントへ接続された状態にしておく必要があります。長期間ご使用にならないとき以外は電源コードを抜かないようにしてください。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

本機の接続が終わったら、テレビ放送のチャンネルを設定します。
本機では、000 ～ 999 チャンネルまでの地上デジタル放送を受信することができます。

ご注意

- お住まいの地域の放送をスキャンして、自動的にリモコンチャンネル番号に放送局（受信チャンネル）を割り当てます。チャンネル番号が 13 以降に割り当てられた放送を見るときは、チャンネル ∧∨ を使います。
- CATV 放送を受信するには、別途ケーブルテレビ会社との契約が必要です。
  また、スクランブルのかかった有料チャンネルの視聴にはケーブルテレビ会社から支給されるケーブルテレビチューナーが必要です。
- リモコンのボタンに割り当てられたチャンネルは、変更することができます。
  「リモコンのボタンにチャンネルを割り当てる」（☞ 21 ページ）をご覧ください。

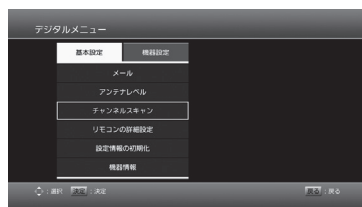
地上デジタル放送のチャンネル設定ーチャンネルスキャン

1 地上D を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 デジタルメニュー を押す

デジタルメニューが表示されます。

3 ▲ ▼ で「チャンネルスキャン」を選び、決定 を押す

チャンネルスキャン画面が表示されます。

4 ◀ ▶ で視聴地域を選び、決定 を押す

チャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャン中に デジタルメニュー または 戻る を押すと、チャンネルスキャンを中止します。

5 チャンネルスキャンが終了すると「ワンタッチボタンの確認・編集」画面を表示する

「リモコンのボタンにチャンネルを割り当てる」（☞ 21 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- チャンネルスキャン終了時、受信 CH: 放送局に表示されない放送局がある場合は、アンテナ線の接続や mini B-CAS カードの有無、アンテナの位置、地上デジタル放送の受信エリアなどの確認を行ってください。ひとつでも不備があると正常に受信できない場合があります。

リモコンのボタンにチャンネルを割り当てる－リモコンの詳細設定

自動的に割り当てられた受信チャンネルを、使いやすいようにリモコンの数字ボタンにご自分で割り当てることができます。

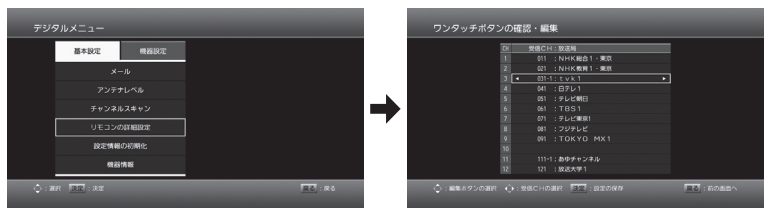
1 地上D を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 デジタルメニュー を押す

デジタルメニューが表示されます。

3 ▲ ▼で「リモコンの詳細設定」を選び、決定 を押す

ワンタッチボタンの確認・編集画面が表示されます。

➡

4 ▲ ▼ で割り当てるリモコンチャンネルボタンを選び、◀ ▶ で割り当てる受信 CH: 放送局を選ぶ

お知らせ

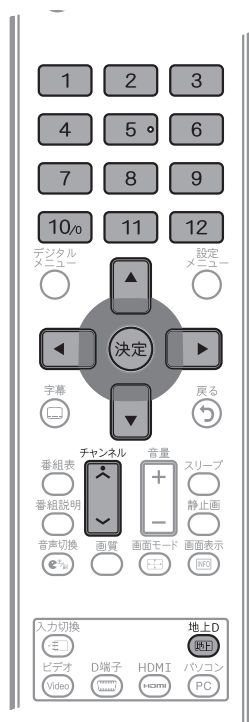
- リモコンチャンネルに割り当てられた受信 CH: 放送局をスキップするときは、空白を選択してください。
- リモコンチャンネルに割り当てられるのは最大 12 局までです。

5 手順 **4** を繰り返して、他のチャンネルを設定する

6 決定 を押し、設定を保存する

7 戻る を押して終了する

地上デジタル放送のアンテナレベルの確認－アンテナレベル

アンテナレベルの確認は、現在視聴しているチャンネルのアンテナ受信状況を確認します。確認したいチャンネルを選択した上で、操作を行ってください。

1 地上D（地上）を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 アンテナレベルを確認するチャンネルを選択する

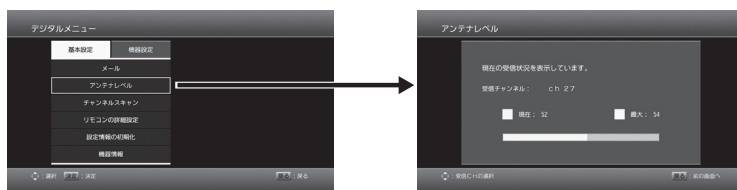
チャンネル（∧/∨）または、チャンネルボタン 1 ～ 12 で選択します。

3 デジタルメニュー（○）を押す

デジタルメニューが表示されます。

4 ▲ ▼ で「アンテナレベル」を選び、（決定）を押す

アンテナレベル画面が表示されます。

5 ▲ ▼ で受信チャンネルを選び、受信状況を確認する

6 アンテナレベルの最大値が高くなるか、現在値がそれに近い値になるようにアンテナの位置や向きを変える

7 確認が終わったら 戻る（⟲）を押し、前の画面にもどる

ご注意

● 天候が悪いときなどは、受信レベルが低くなります。
● 推奨アンテナレベルは、60 以上です。
現在値が 60 以下の場合は、映像にブロックノイズが発生したり、映像の途切れ、音声の途切れが発生します。天候による影響も発生しやすくなるため、現在値が 60 以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
● アンテナレベル画面の受信チャンネル番号は、物理チャンネル番号を表示します。実際の放送局の番号と異なりますのでご注意ください。

テレビを見る

テレビを見る前に以下の点をご確認ください。
・アンテナは接続されていますか？（☞ 14 ページ）
・mini B-CAS カードはセットしていますか？（☞ 7 ページ）
・受信チャンネルは設定されていますか？（☞ 20 ページ）

テレビを見る

1 地上D を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 チャンネルを選ぶ

画面上にチャンネル番号が表示されます。

■ワンタッチボタンでチャンネルを選ぶ

1 〜 12 を押します。

■順送りでチャンネルを選ぶ

チャンネル を押して選びます。

3 音量 を押して音量を調節する

お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合があります。これは、映像信号の変換などに時間がかかるためで、故障ではありません。
- 放送局番号と物理チャンネル
  デジタル放送では 1 つのチャンネルで最大 3 つの番組を放送できます。このため、チャンネルを指定しただけではどの番組を見るのか特定できません。そこで、3 桁の放送局番号によって番組を特定できるようになっています。最初の 2 桁が放送局を示し、最後の 1 桁でそのチャンネルのどの番組かを指定します。
  また、今までの UHF 帯のチャンネル番号をこの放送局番号と区別するために「物理チャンネル」と呼んでいます。

音声を切り換える－音声切換

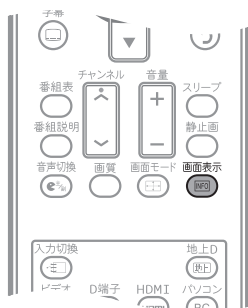
1 放送音声に応じて 音声切換 を押して、好みの音声を選ぶ

画面上に選択した音声が表示されます。
「音声１：主」→「音声２：主」→「音声１：副」→「音声２：副」→「音声１：主／副」→「音声２：主／副」…
放送音声により表示は異なります。以下の表示例を参考にしてください。

・主音声のみのとき：
「音声１：主」
・二ヶ国語モノラル放送のとき：
「音声１：主」→「音声１：副」→「音声１：主／副」…
・二ヶ国語ステレオ放送のとき：
「音声１：主」→「音声２：主」…

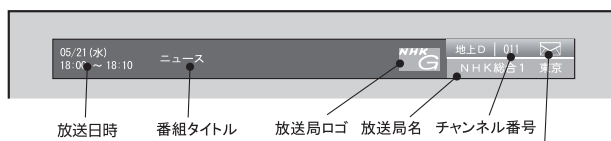
ご注意

● 番組の放送音声（音声解説／二ヶ国語／ステレオ）によって選択できる音声が異なります。
放送音声によってはボタンを押しても、切り換えができない場合がありますが故障ではありません。

チャンネル情報を表示する－画面表示

1 画面表示 を押して、視聴中のチャンネル情報や設定情報を表示する

画面表示 を、もう一度押すと画面表示が消えます。
地上デジタル放送の視聴情報は、約５秒で自動的に消えます。

■地上デジタル放送の場合

メール受信マーク
地上デジタル放送を通じて放送局からのお知らせや、ファームウェアのアップデート通知メールを受けたときに表示します。

◆番組タイトルのマーク例◆

- 再　再放送の番組です。
- S　ステレオ音声の番組です。
- SS　サラウンドステレオ音声の番組です。
- 解　副音声を使って解説をおこなっている番組です。
- 二　2重音声放送の番組です。
- 字　字幕表示ができる番組です。
- デ　データ放送対応番組です。※

※番組バナー表示は、約５秒で自動的に消えます。
※本製品は、データ放送には対応しておりません。

入力を切り換えて外部機器の映像を見る

本機に接続した AV 機器・パソコンなどは、リモコンのボタンで簡単に切り換えることができます。

1 入力切換 を押す

入力切換メニューを表示します。

2 ▲ ▼ で入力ソースを選択し、決定 を押す

入力切換選択	切り換わる入力
D	D 端子 (D 映像 /D 端子音声) の入力
HDMI	HDMI 端子の入力
パソコン	PC(アナログ) 端子 /PC- アナログ音声端子の入力
地上 D	地上デジタル放送
AV	ビデオ入力端子の入力
SV	S ビデオ（映像 / 音声）端子の入力

● 入力切換ボタンを続けて押すと、D → HDMI → パソコン → 地上 D → AV → SV → D…と切り換わります。
● 接続されていない入力を選ぶと、ブルーバック画面表示となります。

■入力ソースを直接選択する

地上D：地上デジタル放送に切り換えます。

ビデオ：映像 (ビデオ /S ビデオ) 端子 (映像 / 音声) に切り換えます。

D端子：D 端子 (D 映像 /D 端子音声) に切り換えます。

HDMI：HDMI 端子に切り換えます。

パソコン：PC(アナログ映像) 端子 /PC- アナログ音声端子に切り換えます。

お知らせ

■入力切換時のご注意

● 地上デジタル放送へ切り換えるときなどに、入力信号に合わせて本機内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがありますが故障ではありません。
● 入力を切り換える際は、本機内部のチップ処理の関係で数秒時間がかかります。
● パソコン入力の無い状態でパソコンを選択すると、" 信号なし " と表示し、本機の電源が切れます。この場合、地上D などを押すと、再び電源が入ります。

画面モードを切り換えるー画面モード

テレビの画面モード（画面の縦横比）を、リモコンのボタンで簡単に切り換えることができます。

1 画面モード を押して、好みの画面モードを選ぶ

画面に選択した画面モードが表示されます。

画面モード を押すたびに、画面モードが切り換わります。

● 選択できる画面モードは、放送・入力によって異なります。

画面モード	詳細
フル	画面いっぱいに映像を表示します。入力信号によっては映像が上下に引き伸ばされます。
ズーム 1	映像の縦横比を維持したまま、中心を基準に画面を拡大します。画面の外枠が一部欠けます。
ズーム 2	ズーム 1 の画面全体を上に動かし、画面下部に出る字幕が見えるようにします。
4：3	映像の縦横比を維持するため、画面の左右に黒い部分ができます。
パノラマ	画面いっぱいに映像を表示します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。

視聴中の画面を静止させるー静止画

視聴中の画面をリモコンのボタンを押すだけで、静止画にすることができます。

1 静止画 を押して、静止画モードにする

静止画 を、もう一度押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

● テレビ視聴中に料理番組のレシピや、懸賞の応募先などを静止画で確認することができます。

画質を好みで換える―画質

リモコンのボタンを押すだけで、視聴中の画像（画質）を切り換えることができます。

1 画質 を押して、画像を切り換える

画質 を押すたびに、スタンダード ⇒ ダイナミック ⇒ ユーザーの順に切り換わります。

お知らせ

- 「ユーザー」は、設定メニューから「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「シャープネス」「バックライト」および「省エネモード」を好みに合わせて設定できます。
  「設定メニューを使う－画像」（☞ 33 ページ）をご覧ください。

音を一時的に消す―消音

リモコンのボタンを押すだけで、音声を消すことができます。

1 消音 を押して、消音モードにする

画面に「消音」が表示されます。

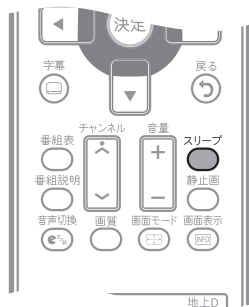
消音 を、もう一度押すと元の音量に戻ります。

お知らせ

電話や来客時などに便利

- 電話や急な来客時など、ボタンを押すだけですばやく消音できます。用事が終わったら、ボタンを押すだけですばやく元の音量に戻せます。

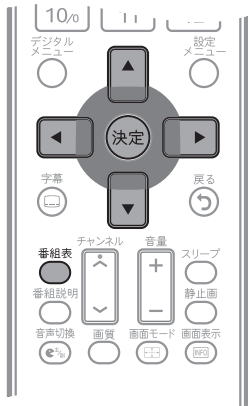
自動的に電源を切る━スリープタイマー

一定時間が経過すると自動的に電源をオフにする「スリープタイマー」機能があります。夜寝るときなどに電源の切り忘れを防ぎ、省エネに役立ちます。

1 （スリープ）で電源をオフにするまでの時間 (単位：分) を選ぶ

スリープ　0 ⇒ スリープ　15 ⇒ スリープ　30 ⇒ スリープ　45 ⇒ スリープ　60 ⇒ スリープ　0…から選択します。
スリープタイマーの設定を解除するときは「スリープ　0」を選びます。

地上デジタル放送を楽しむ

地上デジタル放送では、番組の情報を表示したり、字幕を表示したりすることができます。本機のリモコンのボタンを押すだけで、これらの機能をご利用になれます。

電子番組表を表示する一 番組表

1 地上デジタル放送視聴中に 番組表 を押す

現在時間の番組と以降に放送する番組表を表示します。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組内容を確認する

▲ ▼ で放送予定の番組内容を確認できます。

◀ ▶ で放送チャンネルを切り換えます。

3 決定 を押す

放送中番組の場合：チャンネルを切り換え表示します。
放送予定番組の場合：番組説明画面を表示します。

お知らせ

- 番組表を取得（ダウンロード）するには、多少時間がかかります。（電波状況により異なります。）
- 番組表は、地上デジタル放送でのみお使いになれます。
- 番組表を使用した視聴予約はできません。

番組の説明を表示する一 番組説明

1 地上デジタル放送視聴中に 番組説明 を押す

視聴中番組の内容説明などの詳細情報を表示します。

お知らせ

- 番組説明情報を取得（ダウンロード）するには、多少時間がかかります。(電波状況により異なります。)

字幕を表示する一字幕

1 地上デジタル放送視聴中に 字幕 を押す

字幕 を押すたびに、番組ごとに設定された字幕が切り換わります。「デジタルメニューの機器設定－字幕の設定」(☞ 39 ページ）をご覧ください。

ご注意

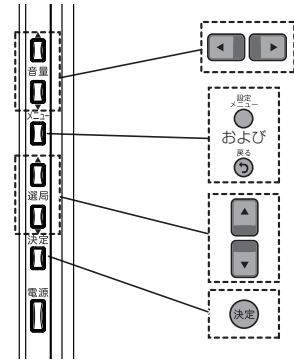
- 放送中の番組に字幕が含まれている場合に有効です。

メニューについて

本機には、機能を設定するための 2 種類のメニューがあります。テレビ全般の機能は設定メニューで設定し、地上デジタル放送の機能はデジタルメニューで設定します。
なお、メニューの表示内容はテレビ放送や入力信号により一部異なります。テレビ放送や入力信号に対応しないメニュー項目は、グレー表示となり選択することができません。

本体のボタンでメニューを操作する

本体側面の操作ボタンを使用して、メニューを操作することができます。右図に示す本体の操作ボタンとリモコンの操作ボタンの対応を確認し、操作説明内のリモコンボタンに対応する本体のボタンで操作してください。

本体の操作ボタン　リモコンの操作ボタン

地上デジタル放送のデジタルメニューを操作する

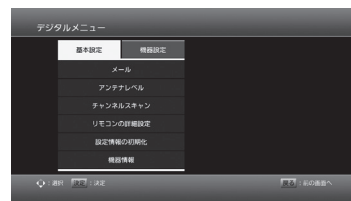
1 地上D を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 デジタルメニュー を押す

デジタルメニュー画面が表示されます。

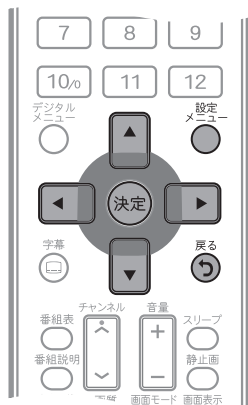
◀ ▶ で「基本設定」と「機器設定」を切り換えます。

▲ ▼ でメニュー項目を選択し、決定 を押すと、設定画面が表示します。

デジタルメニューの詳細は:「デジタルメニューを使う」(☞37ページ)をご覧ください。

3 設定が終わったら 戻る を数回押し、デジタルメニューを終了する

ご注意

- デジタルメニューは、地上デジタル放送に切り換えているときのみ表示されます。
- デジタルメニューは、デジタルメニュー（または 戻る ）を押すまで終了しません。

テレビ全般の設定メニューを操作する

1 設定メニュー ◯ を押す

メニュー画面が表示されます。

◀ ▶ でメニュー項目を選び、▼ を押し、項目エリアにカーソルを移動する

▲ ▼ で項目を選択し、▶ または ◀ ▶ で調整します。

テレビ放送や入力信号により、表示させるメニュー内容が異なります。詳細は:「設定メニューを使う」(☞ 33 ページ)をご覧ください。

3 設定が終わったら 設定メニュー ◯ を押し、メニューを終了する

ご注意

- 設定メニューは、しばらく何も操作しないと、自動的に終了します。

お知らせ

- 設定項目には、◀ ▶ でスライダーを動かすだけのもの、◀ ▶ で選択してから 決定 を押すもの、▶ で別の画面に変わるものなどがあり、メニュー項目によって操作が異なります。
- 項目エリアから上側のメニュー項目にカーソルを移動させるには、戻る を押します。
- 設定値を調節するスライダーバーからメニュー画面に戻す場合には、戻る を押します。

設定メニューを使う

設定メニュー画面では、各種機能を設定します。

画像

パソコン，HDMI 入力以外時

オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>画質モード</td><td>画質モードを 3 種類から選択します。「ユーザー」を選択すると「コントラスト」「明るさ」「色あい」「色の濃さ」「シャープネス」「バックライト」および「省エネモード」を好みに合わせて設定できます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>スタンダード</td><td>落ちついた雰囲気で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>ダイナミック</td><td>明るく、迫力のある映像で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>ユーザー</td><td>好みに合わせた映像を見たいとき</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>映像の階調を調整します。右ほどコントラストの高い映像になります。</td></tr>
<tr><td>明るさ</td><td>映像の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
<tr><td>色あい</td><td>映像の肌色などを調整します。右ほど緑調が強くなり、左ほど赤調が強くなります。</td></tr>
<tr><td>色の濃さ</td><td>映像の色の濃さ (彩度) を調整します。右ほど色が濃くなります。</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td>映像の鮮明度を調整します。右ほど映像がシャープになり、左ほど映像がソフトになります。</td></tr>
<tr><td>バックライト</td><td>画面の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
<tr><td>省エネモード</td><td>画面の明るさを抑えたり、消費電力を節約します。</td></tr>
<tr><td>色調</td><td>3 段階の色温度を選択できます。
・標準：標準の色の濃さに設定します。
・暖色系：赤みの強い画面に設定します。
・寒色系：青みの強い画面に設定します。</td></tr>
<tr><td>画面サイズ</td><td>画面サイズ（画面の縦横比）を切り換えます。
「画面モードを切り換える－画面モード」（☞ 26 ページ）</td></tr>
</table>

※設定値を調節するスライダーバーからメニュー画面に戻す場合には、戻る を押します。

音声

オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>音質モード</td><td>音質モードを 4 種類から選択します。「ユーザー」を選択すると「低音」「高音」を好みに合わせて設定できます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>スタンダード</td><td>低音から高音までフラットな標準音質モード</td></tr>
<tr><td>シネマ</td><td>低音とサラウンドをやや強めた臨場感のある音質モード</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>低音と高音を強調し、メリハリのある音質モード</td></tr>
<tr><td>ユーザー</td><td>好みに合わせた音質モード</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>低音</td><td>低音の出力を調整します。</td></tr>
<tr><td>高音</td><td>高音の出力を調整します。</td></tr>
<tr><td>バランス</td><td>左右のスピーカーの音声バランスを調整します。</td></tr>
<tr><td>SRS</td><td>SRS TruSurround XT™ は､正真正銘の没入型サウンド体験が得られます。スピーカーが 2 つだけの環境でも、重厚な低音に鮮明な音声の再生が可能になります。
SRS TruSurround XT™ は特許認定済みの SRS 技術で、2 つのスピーカーでの 5.1 マルチチャンネルのコンテンツの再生を可能にしました。
*SRS をオンにすると音質モードの設定は無効になります。</td></tr>
</table>

※設定値を調節するスライダーバーからメニュー画面に戻す場合には、（戻る）を押します。

設定画面

オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します。

設定項目	設定内容／設定値
水平位置	表示画面の水平位置を調整します。
垂直位置	表示画面の垂直位置を調整します。
表示時間	画面表示の表示時間を設定します。（単位：秒）
言語	画面表示の言語を選択します。
オーバースキャン	※ HDMI 入力選択時のみ対応 画像端のゆがみやノイズを隠すために画面の周辺部を表示しないようにします。
リセット	工場出荷初期状態に戻します。

オンタイマー

地上デジタル放送視聴時

オンタイマーは、設定した時間になると自動的に電源が入る機能です。

設定項目	設定内容／設定値
曜日	毎日、毎週、日曜日～土曜日で設定します。オフを選択するとオンタイマーは働きません。
時刻　時・分	電源を入れる時間を、24 時間・60 分表示で設定します。
視聴時間	視聴時間を設定します。設定時間が経過すると自動的に電源が切れます。
音量	テレビの音量を設定します。

パソコン

パソコン，HDMI 入力時

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>画質モード</td><td>画質モードを 3 種類から選択します。「ユーザー」を選択すると「省エネモード」「バックライト」「コントラスト」および「明るさ」を好みに合わせて設定できます。
<table><tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr><tr><td>スタンダード</td><td>落ちついた雰囲気で楽しみたいとき</td></tr><tr><td>ダイナミック</td><td>明るく、迫力のある映像で楽しみたいとき</td></tr><tr><td>ユーザー</td><td>好みに合わせた映像を見たいとき</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>省エネモード</td><td>画面の明るさを抑えたり、消費電力を節約します。</td></tr>
<tr><td>バックライト</td><td>画面の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>映像の階調を調整します。右ほどコントラストの高い映像になります。</td></tr>
<tr><td>明るさ</td><td>映像の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
<tr><td>色調</td><td>色調画面に移動し、4 段階の色温度を選択できます。
・標準（標準の色）、・暖色系（濃めの色）、・寒色系（薄めの色）、・自設定（お好み）
" 自設定 " を選択すると、赤・緑・青を調整してお好みの色を設定できます。</td></tr>
<tr><td>画面自動調整
※パソコン入力時のみ</td><td>映像信号を自動で判別し、画面の水平位置、垂直位置、微調整、水平サイズの調整を自動的に行います。</td></tr>
<tr><td>水平位置
※パソコン入力時のみ</td><td>画面の水平位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>垂直位置
※パソコン入力時のみ</td><td>画面の垂直位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>水平サイズ
※パソコン入力時のみ</td><td>画面の水平サイズを調整します。</td></tr>
<tr><td>微調整
※パソコン入力時のみ</td><td>位相の遅延を調整します。画像が鮮明でないときに調整してください。</td></tr>
</table>

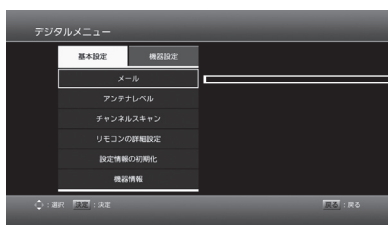
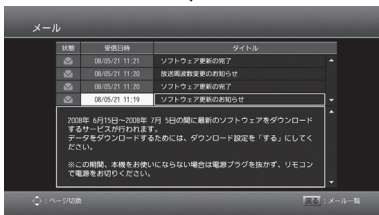
※設定値を調節するスライダーバーからメニュー画面に戻す場合には、戻る を押します。

デジタルメニューを使う

デジタルメニューでは、地上デジタル放送の機能を設定します。

ご注意

- デジタルメニューは、地上デジタル放送に切り換えているときのみ表示されます。

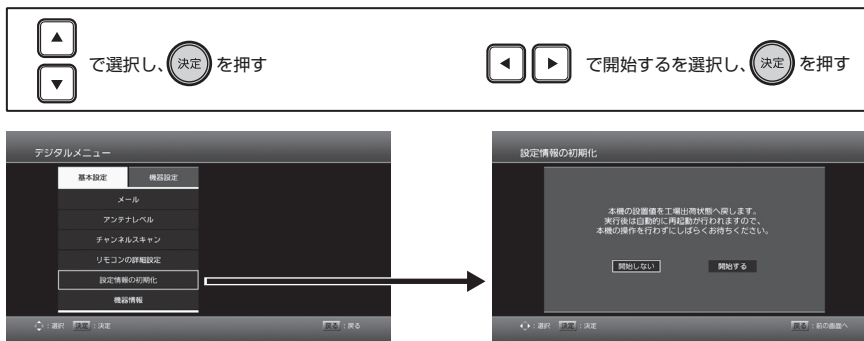
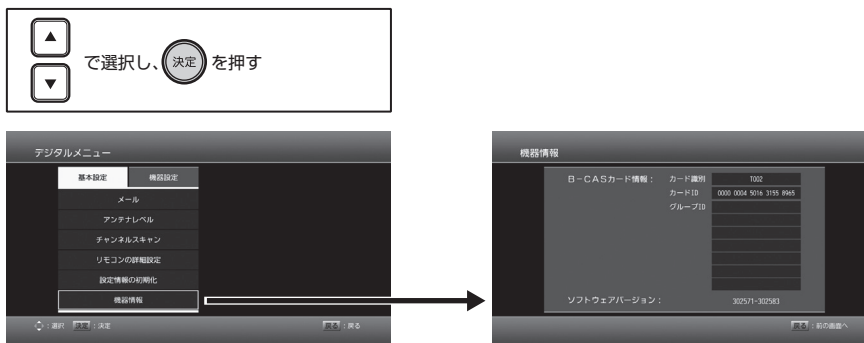
基本設定－メール

地上デジタル放送を通じて放送局からのお知らせや、ファームウェアのアップデート通知メールが表示されます。

※ メールは、最大 12 件まで表示し、既読または、古いメールから順に削除されます。

※ メールが 1 件も受信されていない場合、最上段のタイトル部分に " メールがありません " と表示されます。

基本設定－アンテナレベル / チャンネルスキャン / リモコンの詳細設定

設定項目	設定内容／設定値
アンテナレベル	地上デジタル放送のアンテナ受信感度を確認します。 「地上デジタル放送のアンテナレベルの確認」（☞ 22 ページ）
チャンネルスキャン	地上デジタル放送のチャンネル設定をします。 「地上デジタル放送のチャンネル設定」（☞ 20 ページ）
リモコンの詳細設定	チャンネルスキャンで割り当てられたチャンネル番号を変更します。 「リモコンのボタンにチャンネルを割り当てる」（☞ 21 ページ）

基本設定－設定情報の初期化

デジタルメニューの設定内容を、工場出荷初期状態に戻します。

基本設定－機器情報

設定項目	設定内容／設定値
B-CAS カード情報	使用している B-CAS カードのカード識別、カード ID、グループ ID を表示します。
ソフトウェアバージョン	本機のファームウェアバージョンを表示します。

機器設定－字幕の設定 / 文字スーパーの設定

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>字幕の設定</td><td>テレビドラマの台詞などの字幕表示設定を行います。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>オフ (初期値)</td><td>字幕を表示しない</td></tr>
<tr><td>日本語</td><td>字幕を「日本語」で表示する</td></tr>
<tr><td>英語</td><td>字幕を「英語」で表示する</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>文字スーパーの設定</td><td>臨時ニュースなどの文字スーパー表示設定を行います。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>オフ (初期値)</td><td>文字スーパーを表示しない</td></tr>
<tr><td>日本語</td><td>文字スーパーを「日本語」で表示する</td></tr>
<tr><td>英語</td><td>文字スーパーを「英語」で表示する</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のファームウェア（制御プログラム）を自動的に更新します。ファームウェアデータは、地上デジタル放送波にファームウェア信号を載せて送信され、本機へデータをダウンロードします。
ファームウェアの更新は、本機の電源が切られているとき（電源インジケータが橙色点灯時）に自動的に実行します。また、ファームウェアの更新処理には約 10 分かかります。長期間ご使用にならないとき以外は電源プラグを抜かないようにしてください。

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続
- 入力切換の設定
- 地上デジタル放送の受信チャンネルのスキャン状態（☞ 20 ページ）（地上デジタル放送は受信チャンネルのスキャンを行わないと受信できません。）

以下の状態は故障ではありません。

① 画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある
画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

② ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る
周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

③ デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る
デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

原因と対策

● 全般

問　　題	原　　因	対　　策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
電源が突然切れた/いつの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	VGA入力のモードで接続しているパソコンがパワーセーブモードに入った。	パソコンのパワーセーブモードから抜け出してください。
	コードの接続部が緩んでいるため、パソコンからの入力が途切れ、無信号になった。	しっかりと接続してください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き（+、－）で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮蔽物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

● 映像（全般）

問　　題	原　　因	対　　策
色がおかしい/画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞27・33ページ）
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞27・33ページ）
画面が一部切れる/画面が歪む。	画面モードが適切でない。	[画面モード]または設定メニューで適切な設定を選んでください。（☞26ページ）

● 映像（デジタル放送）

問　　題	原　　因	対　　策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞25ページ）
	B-CASカードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。（☞7ページ）
地上デジタルの受信設定ができない/放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	アンテナ入力端子にアンテナをしっかりと接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。
地上デジタルが映らない/画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置/方向/角度が適切でない。	適切に調整してください。
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。（☞20ページ）
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
画面が暗くなり、何も映らない。	ラジオ放送を受信している。	デジタル放送では音声のみの放送もあります。映像を楽しみたい時は、他のチャンネルをお選びください。

● 接続した機器について

問　　題	原　　因	対　　策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞25ページ）
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生/録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）やS映像信号を、AVアンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号またはS映像信号を、本機のAV入力に直接接続してください。

● 音声（全般）

問　　題	原　　因	対　　策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない/左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください（☞34ページ）
ヘッドホンの音が、スピーカーの音よりも聞こえにくい。	ヘッドホンのインピーダンスが合っていない。	インピーダンスの高いヘッドホンでは音が低めに出ます。本機はインピーダンスが32オームのヘッドホンに合わせて設計してあります。

● 音声（デジタル放送）

問　　題	原　　因	対　　策
音声が出ない/音声がおかしい。	主音声/副音声の設定が適切でない。	主音声/副音声の設定をしなおしてください。（☞24ページ）

● 音声（接続した機器）

問　　題	原　　因	対　　策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

● 番組表

問　　題	原　　因	対　　策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、待機状態にしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、待機状態にしてください。
	チャンネル登録していない。	チャンネル登録をしてください。
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源コードを抜いている間（電源ランプ：消灯）は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	リモコンの電源ボタンで電源を切り、待機状態（電源ランプ：橙）にしてください。
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

● その他

問　　題	原　　因	対　　策
▼選局▲ボタンで選局できない。	チャンネル登録されていない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	ソースによっては表示されないメニューもあります。	ソースを切り換えてください。
未読マークがありますと表示される。	デジタル放送や本機から発行されたメール が来ています。	メールの内容をご確認ください。 （☞37ページ）

● こんな表示が出たときは

表示文字列	表示契機	消去契機
地上デジタル放送を視聴するためにはメニューよりチャンネルスキャンを行ってください。	・工場出荷時 ・設定情報の初期化後 ・チャンネルスキャンを実施して、有効なTSが検出できなかった場合	・チャンネルスキャンを実施して、有効なTSが検出できた場合
信号が受信できません。(E202)	・信号が検出できなくなった場合（信号レベル0の状態）	・受信状態回復時
信号レベルが低下しているか、または放送休止中です。（E201, E203）	・信号レベルが著しく低下した場合 ・放送休止中	・受信状態回復時 ・放送再開時
このチャンネルはありません。(E204)	・臨時放送休止中	・放送再開時
B-CASカードが未挿入です。	・ICカード未挿入時	・ICカード挿入時
このカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。	・使用不可ICカード装着	・使用可能ICカード装着時
B-CASカードを交換してください。	・ICカード交換が必要な時	・使用可能ICカード装着時
現在、XXXchで緊急警報放送を行っております。	・緊急警報放送受信	・緊急警報放送チャンネルへの選局

仕様

型名	CPEV24WDE4
質量	約4.6Kg
外形寸法（幅×高さ×奥行）	563.3 x 413.2 x 218.3 mm
LCD タイプ	23.6"
液晶パネル　アスペクト比	16:9
画素数	1920 x 1080
輝度	300 cd/m^2
コントラスト比	1,000:1
視野角　上下／左右	160°／170°
解像度	1920 x 1080 @ 60Hz (推奨) 1680 x 1050 @ 60Hz 1400 x 1050 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60Hz 1360 x 768 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 60,75Hz 1280 x 960 @ 60Hz 1152 x 864 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60,70,75Hz 800 x 600 @ 56,60,72,75Hz 640 x 480 @ 60,72,75Hz
音声出力	3.0W x2
光音声出力	-15～-21dB (mW), 波長 660nm, EIAJ CP-1201準拠
	AAC 5.1ch出力
接続端子	• HDMI映像音声入力×1 • D映像+ステレオ音声入力×1 • コンポジット映像十ステレオ音声入力×1（S-ビデオ映像と共用） • S-ビデオ映像十ステレオ音声入力×1（コンポジット映像と共用） • PC-VGA映像十ステレオ音声入力×1 • ヘッドホン端子(32Ω)×1 • 地上デジタルアンテナ入力×1 • デジタル音声出力×1 • ステレオ音声出力×1 • サービス用×1
応答速度	5ms
消費電力/（待機電力）	40W/0.6W
年間消費電力	50kWh
受信チャンネル	地上デジタル000～999
使用環境／保管環境	温度：0℃～40℃/-20℃～60℃
	湿度：20%～80%RH/10%～90%RH（結露なきこと）
	高度：0～2,000m/0～3,790m

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

注意：本体側面の“MENU”ボタンと“選局▼”ボタンのキーを同時に押して、近似のPCタイミングの間で切り替えを行うようにします。
近似のPCタイミングは次のものがあります：

• 640 x400@ 70Hz / 720 x 400 @ 70Hz
• 1024 x768@ 60Hz / 1280 x 768 @ 60Hz / 1360 x 768 @ 60Hz

●本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保障の対象外となります。また、アフターサービスもご利用いただけません。
This product is exclusively for Japan.
Use outside the Japan becomes the outside of the guarantee. Moreover, you can not use after-sale service.

●本製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

本製品は、J-Moss(JIS C 0950:2008 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づくグリーンマークを表示しております。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有について情報公開をしております。
詳細は Web サイト、http://www.candela.co.jp/ をご覧ください。

仕様（つづき）

型名	CPEV22WDE4
質量	約3.8Kg
外形寸法（幅×高さ×奥行）	518.2 x 386.6 x 218.3 mm
LCD タイプ	21.5"
液晶パネル　アスペクト比	16:9
画素数	1920 x 1080
輝度	250 cd/m^2
コントラスト比	1,000:1
視野角　上下／左右	160°／170°
解像度	1920 x 1080 @ 60Hz (推奨) 1680 x 1050 @ 60Hz 1400 x 1050 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60Hz 1360 x 768 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 60,75Hz 1280 x 960 @ 60Hz 1152 x 864 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60,70,75Hz 800 x 600 @ 56,60,72,75Hz 640 x 480 @ 60,72,75Hz
音声出力	2.5W x2
光音声出力	-15～ -21dB (mW), 波長 660nm, EIAJ CP-1201準拠
	AAC 5.1ch出力
接続端子	• HDMI映像音声入力×1 • D映像+ステレオ音声入力×1 • コンポジット映像十ステレオ音声入力×1（S-ビデオ映像と共用） • S-ビデオ映像十ステレオ音声入力×1（コンポジット映像と共用） • PC-VGA映像十ステレオ音声入力×1 • ヘッドホン端子(32Ω)×1 • 地上デジタルアンテナ入力×1 • デジタル音声出力×1 • ステレオ音声出力×1 • サービス用×1
応答速度	5ms
消費電力/（待機電力）	38W/0.6W
年間消費電力	49kWh
受信チャンネル	地上デジタル000～999
使用環境／保管環境	温度：0℃～40℃/-20℃～60℃
	湿度：20%～80%RH/10%～90%RH（結露なきこと）
	高度：0～2,000m/0～3,790m

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

注意：本体側面の“MENU”ボタンと“選局▼”ボタンのキーを同時に押して、近似のPCタイミングの間で切り替えを行うようにします。

近似のPCタイミングは次のものがあります：

• 640 x400@ 70Hz / 720 x 400 @ 70Hz
• 1024 x768@ 60Hz / 1280 x 768 @ 60Hz / 1360 x 768 @ 60Hz

●本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保障の対象外となります。また、アフターサービスもご利用いただけません。
This product is exclusively for Japan.
Use outside the Japan becomes the outside of the guarantee. Moreover, you can not use after-sale service.

●本製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

本製品は、J-Moss(JIS C 0950:2008 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づくグリーンマークを表示しております。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有について情報公開をしております。
詳細は Web サイト、http://www.candela.co.jp/ をご覧ください。

型名	CPEV19WDE4
質量	2.9Kg
外形寸法（幅×高さ×奥行）	451.8x 351.2x 178.2mm
LCDタイプ	18.51"
液晶パネル　アスペクト比	16:9
画素数	1366 x 768
輝度	250cd/m 2
コントラスト比	1,000:1
視野角　上下／左右	160°／170°
解像度	1360x 768@ 60 Hz (推奨) 1280x 1024@ 60, 75 Hz 1280x 960@ 60 Hz 1152x 864@ 75 Hz 1024x 768@ 60, 70, 75 Hz 800x 600@ 56, 60, 72, 75 Hz 640x 480@ 60, 72, 75 Hz
音声出力	2.5W x 2
光音声出力	−15〜 −21dB (mW), 波長　660nm, EIAJ CP-1201準拠
	AAC 5.1ch 出力
接続端子	•HDMI映像音声入力×1 •D映像+ステレオ音声入力×1 •コンポジット映像十ステレオ音声入力×1（S-ビデオ映像と共用） •S-ビデオ映像十ステレオ音声入力×1（コンポジット映像と共用） •PC-VGA映像十ステレオ音声入力×1 •ヘッドホン端子(32Ω)×1 •地上デジタルアンテナ入力×1 •デジタル音声出力×1 •ステレオ音声出力×1 •サービス用×1
応答速度	5ms
消費電力/（待機電力）	34W/0.6W
年間消費電力	40kWh
受信チャンネル	地上デジタル000〜999
使用環境／保管環境	温度：0℃-40℃/-20℃-60℃
	湿度：20%-80%RH/10%-90%RH（結露なきこと）
	高度：0-2,000m/0-3,790m

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

注意：本体側面の"MENU" ボタンと "選局▼" ボタンのキーを同時に押して、近似のPCタイミングの間で切り替えを行うようにします。
近似のPCタイミングは次のものがあります：
• 640 x400@ 70Hz / 720 x 400 @ 70Hz
• 1024 x768@ 60Hz / 1280 x 768 @ 60Hz / 1360 x 768 @ 60Hz

●本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保障の対象外となります。また、アフターサービスもご利用いただけません。
This product is exclusively for Japan.
Use outside the Japan becomes the outside of the guarantee. Moreover, you can not use after-sale service.
●本製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

本製品は、J-Moss(JIS C 0950:2008 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づくグリーンマークを表示しております。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有について情報公開をしております。
詳細は Web サイト、http://www.candela.co.jp/ をご覧ください。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認ください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはテクニカルセンターまでご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間……お買い上げ日から 1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはディーオンテクニカルセンターまでお問い合わせください。

■ディーオン　テクニカルセンター
電話：045-472-8181
ファクシミリ：045-473-6711
tech@candela.co.jp

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保障期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

ご連絡していただきたい内容

お名前	
ご住所	
電話番号 /FAX	
E-mail	
製品名（型番）	
製品番号	
お買い上げ日	
接続している機器	
具体的な状況	

製品番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ディーオン（以下「当社」）は、お客さまよりお知らせいただいたお客さまの氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
当社は、お客さまの個人の情報を、製品へのご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合は、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

タイミング表

■対応のモード

下表は信号対応の表示モード一覧表になります。本製品は、対応対象外の解像度を持つ信号が入力されると、動作を自動的に停止するか、または表示不可能になります。最高の画質をお楽しみいただくために、下表に従って表示モードを設定してください。
（Macintosh など、Windows 2000/XP/Vista/7 以外の動作は検証しておりません）

モード	CVBS	SVHS	D	HDMI	TV	VGA
NTSC480i	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ
NTSC480p	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
HD720p	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
HD1080i	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
640 x 480 @ 75Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
800 x 600 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
800 x 600 @ 75Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1024 x 768 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1024 x 768 @ 75Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1152 x 864 @ 75Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1280 x 960 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1280 x 1024 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1360 x 768 @ 60Hz	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1440 x 900 @ 60Hz ★	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1400 x 1050 @ 60Hz ★	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1680 x 1050 @ 60Hz ★	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1920 x 1080 @ 60Hz ★	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい

★ ＝CPEV24WDE4/22WDE4のみとなります。

■画面サイズの設定

モード	フル	4:3	ズーム1	ズーム2	パノラマ
NTSC480i*	はい	はい	はい	はい	はい
NTSC480p**	はい	はい	はい	はい	はい
HD720p**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
HD1080i**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
HD1080p**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
800 x 600 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
800 x 600 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1024 x 768 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1024 x 768 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1280 x 720 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1280 x 768 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1280 x 1024 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1360 x 768 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1440 x 900 @ 60Hz ★	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1400 x 1050 @ 60Hz ★	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1680 x 1050 @ 60Hz ★	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1920 x 1080 @ 60Hz ★	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

※ *= 出荷値、 ** ＝D/HDMI 入力の場合でも可能、 ★ ＝CPEV24WDE4/22WDE4のみとなります。

株式会社 ディーオン
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5
新横浜ユニオンビルANNEX 6F
Phone 045-472-8181
Facsimile 045-473-6711
mail info@candela.co.jp

サポート・修理窓口
ディーオン テクニカルセンター
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-11
新横浜ユニオンビル 3F
Phone 045-472-8181
Facsimile 045-473-6711
mail tech@candela.co.jp

●本製品には、保証書がついています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。
●本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
●本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
●本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。